学校番号	３０４

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	朝鮮文化Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ちょこっとチャレンジ！韓国語（改訂第２版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

語学習得のために必要な基礎的な文法演習を繰り返し行うと共に、基本的会話表現の練習を、あらゆる場面を用いて実践的に行います。また、ビデオ教材、読み物、講義を通じて、文化的知識を深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　初級韓国・朝鮮語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深める。実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
　【思考力、判断力、表現力等】
　コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
　【学びに向かう力、人間性等】
　韓国・朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的，自律的に韓国・朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	韓国・朝鮮語の音声や語彙、表現、文法、 言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じ 適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、韓国・朝鮮語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	韓国・朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に朝鮮・韓国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1・2課	1. インタビューする 2. 自己紹介する	a:動詞の語幹や疑問文・肯定文・否定文などの、構造・意味・働きを理解している。 b:ごく身近な話題（自己紹介など）を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c:本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
	3・4・5課	3. きまりを言う 4. 約束をする 5. 道案内をする	a:動詞・形容詞の語幹、形容詞の連体形、などの働きと意味を理解している。 b: ごく身近な話題（親族や友人との会話など）を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
2学期	6・7・8課	6. 感想を言う 7. 買い物をする 8. プレセントする	a:動詞・存在詞の現在連体形などの文法事項を理解している。 b: 物やできごとの状況説明・感想を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題
	9・10・11課	9. 体の具合を言う 10. 勉強のしかたを話す 11. 話を伝える	a: かしこまった尊敬・間接話法の表現に使用される文法事項などの働きや意味を理解している。 b: ごく身近な話題（人の趣向や体調に関するやりとりなど）を扱った文章を読んで概要を捉えている。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

3学期	12課	12. 思い出を話す	a:過去回想連体形をよく理解している。 b: 会話の中で過去に持続的に行われたことや繰り返し行われていたことを表現できるようにする。 c: 本単元で学んだ文法事項や語彙を使って、コミュニケーションをとろうとしている。	小テスト	小テスト	課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度